



## 思い思いの一枚を

初心者向け写真講座・10/28

No.5

比和自治振興区が、吾妻山周辺で、公益社団法人日本写真家協会会員の金山一宏さんを講師に、初心者向け写真講座を開催しました。

参加した地域住民など6人は、金山さんから「スマートフォンやデジタルカメラを使い、気軽にきれいな写真を撮るコツ」を教わりながら思い思いに撮影し、その後、写真の講評を受けました。

講座終了後、参加者は「初めは『なかなかきれいな写真が撮れない』『カメラの機能がよく分からず使いこなせていない』と感じていたが、美しい紅葉が広がる吾妻山でリフレッシュしながら、お気に入りの写真も撮影でき、有意義な時間だった」と満足そうに話しました。



▲撮り方を教わる参加者

## 花と緑のまちづくりを目指す

庄原ガーデンセミナー 2020・11/8

No.7

花と緑のまちづくり協議会は、本年度2回目となる「庄原ガーデンセミナー2020」を開催しました。

このセミナーは、暮らしに「花と緑」を取り入れるコツや、ガーデニングテクニックを学ぶことで、ガーデニングファンの増加や「花と緑のまちづくり」の推進を目的に実施しています。

今回は「ばらのまち福山」で活躍している福山ばら会の石井総会長を講師に迎え、バラの栽培について詳しく学びました。

参加者は「バラの剪定や誘引（ひもなどを使用し、茎やつるを支柱に固定する作業）など詳しく教えてもらい、とても参考になった」と話しました。



▲セミナーの様子

## 火災に備えて

合同避難訓練・11/10

No.4

庄原市民会館と庄原自治振興センターで合同避難訓練が実施されました。

秋の全国火災予防運動の一環として行われた今回の訓練は、2階の給湯室から出火し、施設利用者の避難誘導を行った後、職員が逃げ遅れるという状況が想定され、実際に庄原消防署の多目的消防車（はしご車）による救助が行われるなど、臨場感あふれる訓練となりました。

救助を受けた職員は「初めての体験で最初は緊張したが、消防署員の冷静な動きに安心感を覚えた。実際の火災現場では訓練どおりに動けるか分からないが、良い経験になった」と話しました。



▲救助の様子

▲使用されたはしご車

## 体に良いことを学ぼう

健康寿命向上セミナー・10/23

No.6

総領自治振興センターで、健康寿命向上セミナーが開催され、20人が参加しました。このセミナーでは、栄養改善・運動機能向上・認知症予防の3つをテーマに、元気で過ごすためのコツを学んでいます。今回は手洗いの仕方の確認と栄養改善教室が行われました。

手洗いの仕方は、汚れに見立てた「ブラックライトで照らすと光る専用のローション」を手につけてから手洗いし、洗い残しをチェックしました。また栄養改善教室では、1食あたりに必要な栄養分の目安量を確認し、高齢者の低栄養を防ぐためのポイントを学びました。

参加者は「洗い残しの多さにびっくりした。手首や指の間までしっかり洗うようにしたい」と話しました。



▲ブラックライトで洗い残しをチェックする参加者

## 各地域で防火意識の高揚

防火パレード

No.1

火災の発生しやすい時季を迎えるに当たり、防火意識の高揚を図るため、各地域で保育所園児や消防車などによるパレードが行われました。

10月21日には、口和町永田地域で三次消防署口和出張所および庄原市消防団口和方面隊主催の防火パレードが開催され、みどり園保育所の園児21人と聖慈保育所の園児11人が参加しました。法被を着用した園児が、拍子木を鳴らしながら、備北消防マスコット「トンピ君」と一緒に防火を呼び掛けながら行進をすると、地域の人たちは温かい拍手を送りました。

10月28日には、庄原消防署西城出張所とおひさま幼年消防クラブ（西城保育所）、庄原市消防団西城方面隊、庄原警察署西城交番などが合同で防火パレードを開催しました。開会式では、園児16人が「火遊びはしません」と元気に声をそろえて火災予防を約束しました。その後、町内を歩き「戸締り用心火の用心」と防火を呼び掛けました。西城保育所の原田樹雄所長は「今回の活動によって子どもたちの防火意識が高まった。貴重な体験の場を用意していただきありがたい」と話しました。



▲拍子木を鳴らしながら行進する園児（口和地域）



▲合同防火パレードの様子（西城地域）

## わんぱくお通り隊！出陣！

東城保育所わんぱくお通り隊・11/7

No.3

東城保育所で、園児による「わんぱくお通り隊」が披露されました。東城保育所は、東城の文化・歴史の伝承体験として、伝統文化であるお通りを模した「わんぱくお通り隊」を毎年行っています。例年は「ふれあい東城まつり」や「まちなみぶらり散歩ギャラリー」のオープニングで披露していましたが、本年は新型コロナウイルス感染予防のためイベントが中止となり、披露することができませんでした。

しかし、地域の皆さんに子どもたちの元気と笑顔を届けたいとの思いから、独自に行われました。この日はあいにくの雨のため町並みを歩くことができませんでしたが「下にー、下に！」と子どもたちの元気な声が響きました。



▲舞台上並ぶわんぱくお通り隊

## たくさんのご来場に感謝！

道の駅たかの300万人達成イベント・10/19

No.2

道の駅たかの来場者（レジ通過者）が300万人に達しました。

平成25年4月、中国横断自動車道尾道松江線の開通に合わせて開業してから、3年目（平成28年）に100万人、5年目（平成30年）に200万人を達成。今回、7年半で300万人を達成しました。

300万人目の来場者は、ドライブで立ち寄った島根県出雲市在住の森山さん夫妻で、記念の花束や庄原市特産の野菜などを受け取りとてもうれしそうでした。

道の駅たかの根波裕治駅長は「今まで庄原産の品ぞろえにこだわり運営してきた。これからもより多くの人に利用してもらえよう、施設の魅力を高めていきたい」と話しました。



▲森山さん夫妻（中央・中央右）と記念撮影